

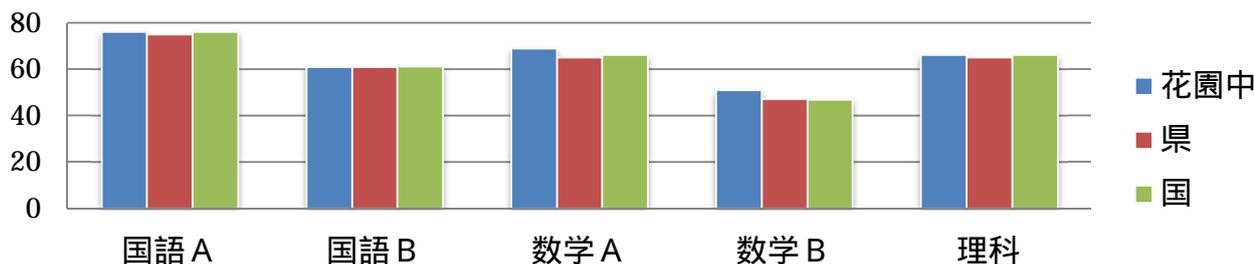
平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園中学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
花園中	76	61	69	51	66
埼玉県(公立)	75	61	65	47	65
全国(公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

各教科の平均正答率



質問紙調査より

質問事項は質問紙調査より抜粋したもの
「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	花園中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.4	92.6	91.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	81.1	77.5	74.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.2	91.2	90.3
	学校の規則を守っている	100	96.3	95.1
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	75.5	56.9	52.1
	家で、学校の宿題をしている	94.3	91.1	91.6
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	82.1	60.3	55.2
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	74.5	74.2	70.6
教科への関心	数学の勉強は好きだ	62.2	54.0	53.9
	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	57.6	43.9	38.7
	理科の勉強は好きだ	61.4	61.6	62.9
	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	60.4	49.9	45.4
その他	自分には、よいところがあると思う	70.7	76.0	78.8
	将来の夢や目標をもっている	92.5	74.4	72.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	99.0	94.3	94.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	52.8	44.9	45.6

花園中の「よかった点（ ）」と「課題（ ）」

【国語】

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことがよくできた。
漢字の読みはよくできていた。
語句の意味を理解して、文脈の中で適切に使えない生徒が多かった。

【数学】

数学 A の正答率は「数と式」「関数」「資料の活用」すべての領域で全国・県平均を上回っていた。
特に「資料の活用」についての正答率が全国・県に比べて高かった。
数学 B の正答率はすべての領域で全国・県を上回っており、特に図形の正答率は高かった。

【理科】

語句等の知識を問う問題の正答率が高い。
無解答率が全体的に全国・県平均より低く、記述問題でも解答できていた。
問題文を丁寧に読み取ったり、内容を確実に解釈して解答することができず、全国・県平均を大きく下回ってしまうことがある。

【質問紙】

生活習慣に関する項目は、どれも全国・県に比べ高い数値である。特に、「学校の規則を守っている」が100%である点は特筆できる。
学習習慣に関する項目では、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」が全国・県を大幅に上回り、家庭学習の習慣が定着している。
「自分にはよいところがある」の項目が全国・県を下回っている。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・文章をしっかりと展開に応じて読み、理解するために音読を多用する必要がある。
- ・漢字の読み書きを定着させるために、漢字の小テストを継続させたい。
- ・作文を書く機会を増やし、自分の意見をまとめる練習を繰り返し行わせたい。

【数学】

- ・学校では、補習などを通して、基礎基本を繰り返し学習し、知識・技能の習得を図り、授業では表現する場を増やし、思考・判断・表現の力を育てていく。
- ・家庭学習に計画的に取り組ませ、さらに習慣化させたい。

【理科】

- ・実験を通じ、客観的視野へ転換する経験を多く積ませる。

【その他】

- ・約80%の生徒は、家庭学習の習慣化が定着してきている。そこで、1日あたりの学習時間の増加を図る手立てを講じていきたい。
- ・生徒の自己理解を図り、自信を持って学校生活を送れるよう指導したい。